

今ココにある会計データで CO₂ 排出量算定を 自動化し、 脱炭素活動を加速

圧倒的な効率化で
CO₂排出量算定の
業務負荷を解消！

浮いた余力で
脱炭素経営を迅速に
ステージアップ！

- ・ 環境省ガイドライン準拠
- ・ 第三者機関による妥当性確認済※
※国際規格(ISO14064-3)に基づく妥当性を第三者機関(SGSジャパン)が確認
- ・ Scope1~3※対応
業カテゴリー(上流)まで



これまでの算定ツールと比べてください

ココが違う！



ココが違う！

01

確かな算定が手軽にできる！

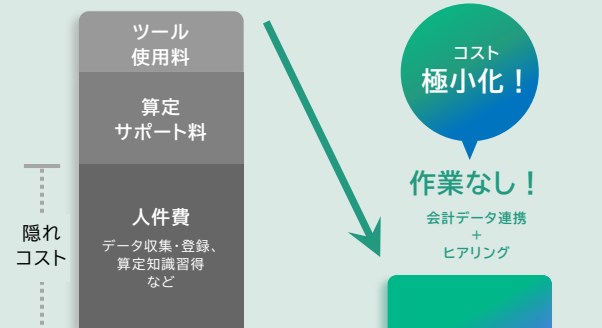
……ご利用の流れ……

カンタン・スピーディーな **3 steps**

- 1 会計データ 連携**
(総勘定元帳など)
- 2 ヒアリング**
(1時間程度)
- 3 CO₂排出量 算定結果 参照**

従来の
排出量算定業務

CO₂ CO₂ココカルテ



排出量算定業務のプロセス

		従来	ココカルテ
1. 算定前準備	(1) 知識習得	算定方法の理解	✓
	(2) 境界設定	排出量算定の対象とする組織範囲の決定	✓
	(3) ツール導入・設定	ツール選定・エクセルテンプレート作成	✓
2. 排出量算定 (Scope1,2)	(4) 排出源の特定	エネルギー起源CO ₂ 排出	✓
	(5) データ収集	各種エネルギーデータの収集	✓
	(6) 排出量算定	排出係数整理・排出量の計算	✓
	(7) 内部検証	データ整合性チェック	✓
3. 排出量算定 (Scope3)	(8) カテゴリ選定	15カテゴリの優先度評価・算定対象カテゴリ決定	✓
	(9) データ収集	各種関連データ(調達金額、輸送費、通勤費等)収集	✓
	(10) 排出量算定	排出係数整理・排出量の計算	✓
	(11) 内部検証	データ整合性チェック	✓

※ 会計データの連携とヒアリングのみ。
※ Scope1(エネルギー起源CO₂排出のみ)、Scope2、およびScope3のカテゴリ1~8が算定対象。



ポイントは、
結果提供型！

- ✓ 会計データをもとに算定した「結果」を提供するため、従来の算定工数を大幅削減！
- ✓ 環境省ガイドラインに準拠した独自開発のアルゴリズムで「確かな算定」

これまでの算定ツールと比べてください

ココが違う！



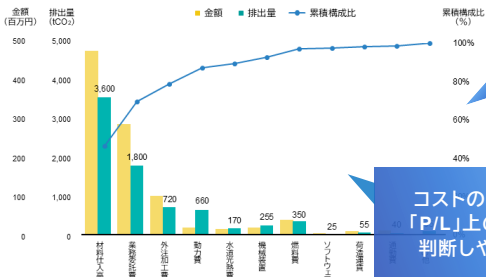
ココが違う！
02

算定結果が経営にも役立つ！



ポイントは、コストまで見える化

勘定科目別排出量

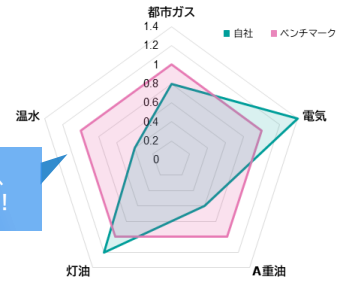


CO₂排出に関わる事業活動が会計の勘定科目ごとにもわかる！

コストの見える化で、「P/L」上の削減余地を判断しやすくなる！

業種平均と比較できるから、計画策定/見直しにも役立つ！

エネルギーコスト比較 製造業



排出削減、情報開示、環境価値創出 など、ココカルテを起点に 次のステップ に注力できるようになります。

ご利用事例

コストと環境、両立への第一歩。

中小製造業のGX基盤づくり



株式会社 大橋 様 | 製造業

環境配慮への対応と企業競争力強化を見据えてココカルテを導入。重点領域を可視化し、“効率的かつ効果的な脱炭素化”を目指しています。

HP : <https://www.ohashi-inc.com/>
環境機器・農林業機械・産業機械の研究開発および製造・販売、輸出入業務



詳細はウェブサイトへ！

<https://www.scsk.jp/sp/cocokarte/>

Q & A

Q 使用する会計データは、どのようなものですか？

会計ソフトにある「総勘定元帳」や「仕訳帳」、「仕訳日記帳」形式の「仕訳データ」を使用します。

Q 算定にはどのくらいの期間がかかりますか？

会計データを連携いただいてから、最短2日～2週間程度で排出量データをご参照いただけます。

Q 算定できる排出量の範囲を教えてください。

GHGプロトコルに基づき、Scope1(直接排出)、Scope2(間接排出)、Scope3のカテゴリ1～カテゴリ8までのCO₂排出量を算定します。

Q エネルギー使用量をもとにした算定も可能ですか？

エネルギー使用量や燃料使用量など、実測値に基づく算定にも対応しています。会計データとの併用や切り替えも柔軟に対応できますので、お気軽にご相談ください。



お問い合わせ

まずはお気軽にご相談ください。



ご契約

お見積り内容をご確認のうえ、お申込書類へご記入ください。



ご利用開始

お申込後にIDが発行され、すぐにサービスをご利用いただけます。

「見える化」のその先へ

「見える化」は、
脱炭素経営の“スタートライン”

SCSKは着実な脱炭素化を支援することで、お客様と社会への貢献を目指します。

SCSK

お問い合わせ先

env-support@scsk.jp

SCSK株式会社
ビジネスデザイングループ
GXセンター CN事業推進部
「ココカルテ」担当